



JCSS
JCSS 0333

総数2頁の1頁目

校正証明書番号 ○○○○○○○○

校 正 証 明 書

依 頼 者 名 東洋メディック株式会社
住 所 東京都文京区関口1-14-10
品 名 放射線治療用線量計
製 造 者 名 東洋メディック株式会社
型 式 RAMTEC Pro
製 造 番 号 ○○○○
校 正 項 目 電荷
校 正 方 法 微小直流電流による積算方式
当社「電位計校正作業手順書」による
校 正 結 果 2頁のとおり
校正実施場所 東京都文京区関口1-14-10
東洋メディック株式会社 関口テストラボ 校正室
校 正 年 月 日 ○○○○年○○月○○日

校正結果は前項のとおり相違ない事を証明します。

発行年月日 ○○○○年○○月○○日
発 行 者 東京都文京区関口1-14-10
東洋メディック株式会社
計量計測部 計量校正課
発行責任者 ○○○○

・この証明書は、計量法第144条（第1項）に基づくものであり、特定標準器（国家標準）にトレーサブルな標準器により校正した結果を示すものです。認定シンボルは、校正した結果の国家標準へのトレーサビリティの証拠です。発行機関の書面による承認なしにこの証明書の一部分のみを複製して用いることは禁じられています。

・当事業所はISO/IEC 17025:2017 に適合しています。

・この証明書はILAC（国際試験所認定協力機構）及びAPAC（アジア太平洋認定協力機構）のMRA（相互承認）に加盟しているIAJapanに認定された校正機関によって発行されています。この校正結果はILAC/APACのMRAを通じて、国際的に受け入れ可能です。



For All Your Tomorrows

TOYO MEDIC



TOYO
MEDIC

総数2頁の2頁目

校正証明書番号 ○○○○○○○○

校正結果

レンジ	校正値 nC	測定値 nC	拡張不確かさ %
STD (正極性)	○○○○○	○○○○○	0.15
	○○○○○	○○○○○	0.15
	○○○○○	○○○○○	0.15
	○○○○○	○○○○○	0.15
	○○○○○	○○○○○	0.15
	○○○○○	○○○○○	0.15
	○○○○○	○○○○○	0.15
STD (負極性)	-○○○○○	-○○○○○	0.15
	-○○○○○	-○○○○○	0.15
	-○○○○○	-○○○○○	0.15
	-○○○○○	-○○○○○	0.15
	-○○○○○	-○○○○○	0.15
	-○○○○○	-○○○○○	0.15
	-○○○○○	-○○○○○	0.15

拡張不確かさは $k = 2$ （信頼の水準約95 %に対応する区間）とした相対拡張不確かさ。

【校正条件】

Ch 番号 : 1 Ch

通電時間 : 50 秒

表示桁数 : 6 桁

温 度 : 21.0 °C ~ 25.0 °C

湿 度 : 40 % 以下

【特記事項】

校正値は基準電荷の量と同義です。

測定値は、電位計のゼロ点ドリフトを補正した値です。

【校正に用いた標準器】

品名	型式	製造番号	製造者名
デジタルマルチメータ	34461A	MY53222955	Keysight Technologies
標準抵抗器	HVR1033 10G	1703006	株式会社日本ファインケム
標準抵抗器	HVR1033 100M	1909088	株式会社日本ファインケム
ユニバーサルカウンタ	53220A	MY56470124	Keysight Technologies

以上

校正証明書 (〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇)に係る参考資料

校正結果から算出できる被校正電位計の電位計校正定数は、下記の通りです。

被校正電位計の型式および製造番号		RAMTEC Pro 〇〇〇〇		
チャンネル	レンジ	測定値 nC	電位計校正定数	拡張不確かさ %
1Ch	STD (正極性)	〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	0.15
	STD (負極性)	-〇〇〇〇〇 -〇〇〇〇〇		

拡張不確かさは $k = 2$ （信頼の水準約95 %）とした相対拡張不確かさ。

測定値は、電位計のゼロ点ドリフトを補正した値です。

本校正は、「日本医学物理学会 標準計測法12」および「放射線治療用線量計に用いられる電位計のガイドライン（日本医学物理学会）」を参考にしています。

電位計校正定数ならびに電位計校正定数の不確かさは同ガイドライン8.5.1により算出しています。

発行日: 〇〇〇〇年〇〇月〇〇日

発行者: 東洋メディック株式会社

計量計測部 計量校正課

以上